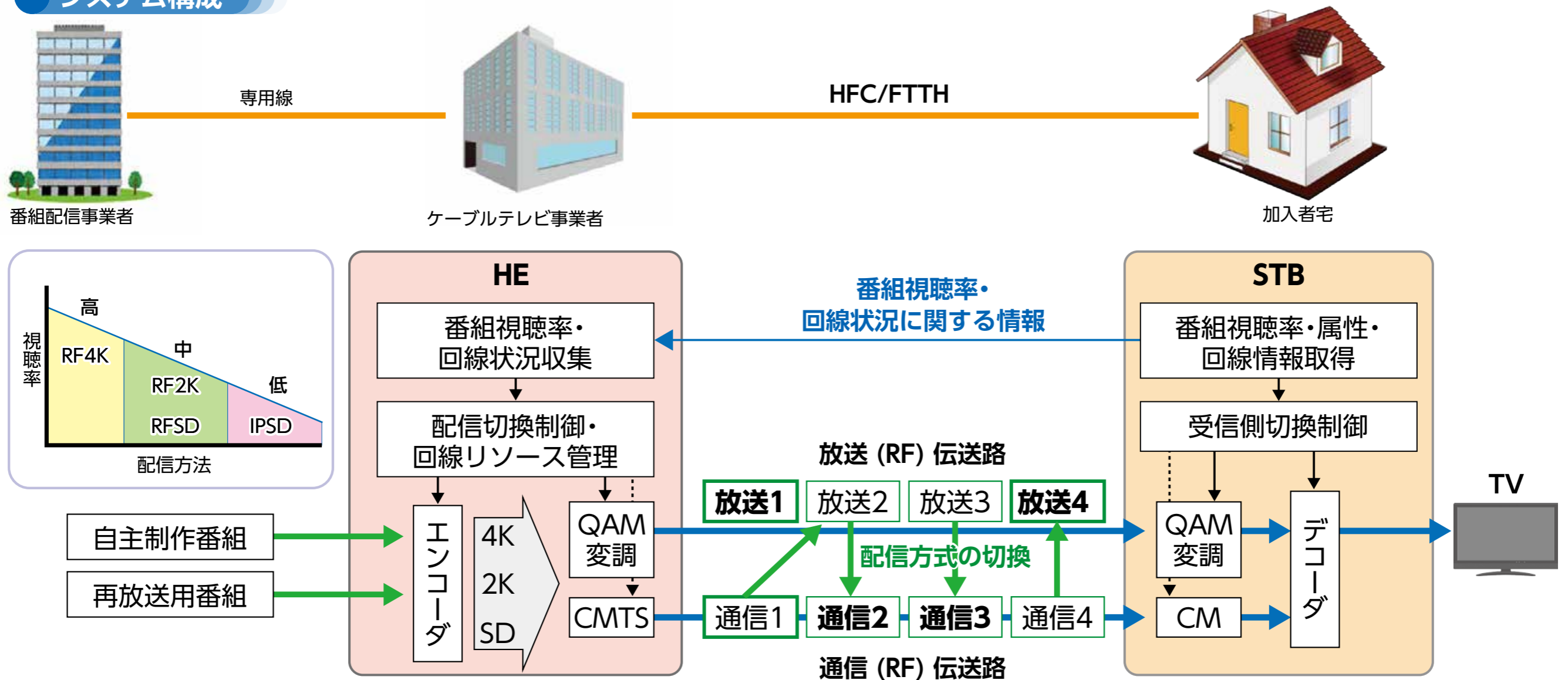


放送・通信の動的配信切替技術

- ケーブルテレビ伝送路の放送・通信帯域を共有した次世代映像配信技術を提案
- 番組視聴率と回線状況に基づき配信方法を動的に切り換えて帯域利用効率を向上

システム構成



総務省 「平成30年度ケーブルテレビにおけるIP放送に係る伝送特性評価等の調査研究」の受託研究における成果

放送・通信の動的配信切替技術

➤ エミュレータを改良し、ケーブルテレビ伝送網を想定した有効性検証を実施

1 実伝送網パラメータの導入

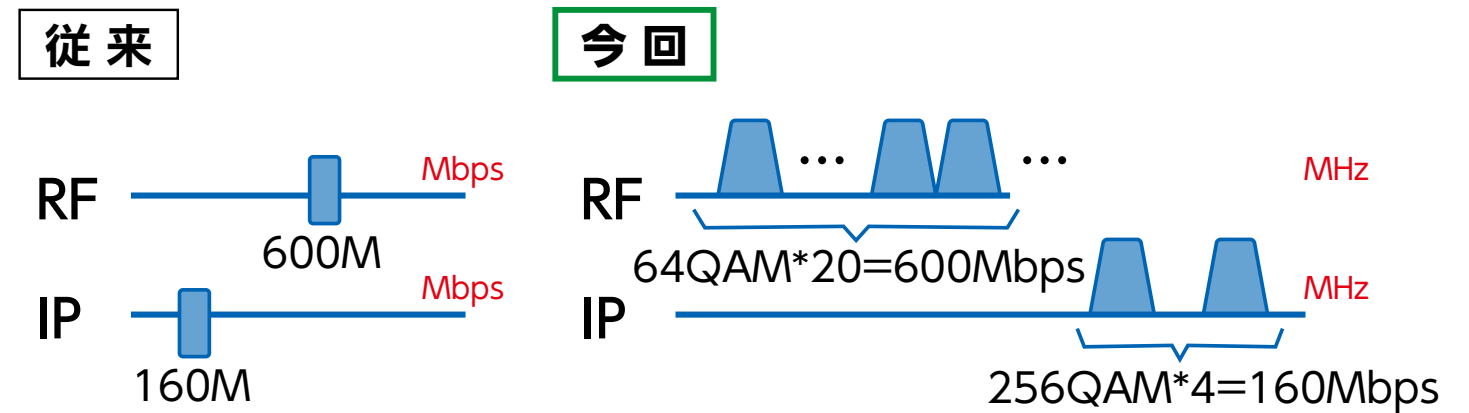
- RF/IP帯域幅をQAM波の数と変調方式で設定
- 伝送路品質を再現すべく、各波にC/Nを導入

2 アルゴリズムの洗練化

- 放送・通信配置パターン算出の最適化
- 番組ジャンルごとの配信映像品質上限の設定… etc.

3 有効性検証結果

- 切替有無の視聴者満足度QoEを比較
 - ▶ 恒常的に切替有りの結果が良い(右グラフ)
- 同一インフラ条件での帯域利用効率の比較
 - : 番組50ch @切替無: 平均82.5点
 - : 番組100ch @切替有: 平均90.5点
 - ▶ 自動切替適用により配信番組数を倍増可能



総務省「平成30年度 ケーブルテレビにおけるIP放送に係る伝送特性評価等の調査研究」の受託研究における成果